

妻高だより 第93号

平成 29 年 3 月 10 日発行

〔発行元〕 宮崎県立妻高等学校
〔発行責任者〕 校長 門田 誠
〔連絡先〕 Tel 0983(43)0005
Fax 0983(43)0004
<http://www.miyazaki-c.ed.jp/tsuma-h/>



第 69 回卒業証書授与式

3月1日、多数の来賓・保護者が見守る中、卒業式が厳粛かつ盛大に挙行政され、161人が3年間通い続けた学び舎を後にしました。学級担任から卒業生一人ひとりが呼名されたのち、学級代表生徒が卒業証書を受領。門田誠校長、教育委員会の飯干賢学校政策課長、西山卓男 PTA 会長の式辞・祝辞に続き、在校生を代表して生徒会長の中武史帆さん（2年、三財中出身）が送辞を、卒業生を代表して青木優作くん（妻中出身）が答辞を述べました。

「後輩の皆さん。……妻高校は平成 30 年度に統合され、新たな歴史が始まります。それでも、私たちが築いてきた伝統が消えることはありません。しっかりと受け継ぎ、今度は皆さん自身の道を作っていくて下さい」。

「校長先生はじめ諸先生方。朝早くから夜遅くまで、私たち一人一人に丁寧に熱心に指導して下さいました。……先生方は永遠に私たちの恩師です」。

「……小4の頃から男手一つでここまで育ててくれた父。部活動の送迎、弁当やご飯を作ってくれた祖父母。決して楽なことではなかったと思います。……私が社会に出て活躍して十分に恩返しできるようになるその時まで、どうか見守って、健康でいてください」。

「妻高校での3年間を充実して過ごせたのは、たくさんの良き友人のおかげです。……辛かった大学受験にも、共に頑張る皆がいたからこそ、挑戦できたし、乗り越えられました。……皆との出会いは、確実に私を形作ってくれました」。

学校行事・部活動の思い出、恩師への感謝、後輩たちへのエール、18年間支えてくれた家族への熱い想い、卒業後の決意が感動的に語られ、会場の涙を誘いました。

新たな人生のスタートを踏み出した卒業生たち。みなさんのこれからの活躍と幸せを、心から祈っています。



地域・PTA 講師による進路講演会

2月4日、各分野で活躍されている保護者や卒業生などを講師として、1・2年生を対象に進路講演会を実施しました。生徒たちは、販売営業・金融・美容・警察・公務員・看護・福祉・幼児教育など12の講座から2講座を選択し、それぞれの職業について、現場の「生」の声を聞くことができました。



校内百人一首大会

1月31日、恒例の百人一首大会がおこなわれ、クラス対抗で取り札の数を競いました。参加した1・2年生は、普段触れる機会が少なくなった日本の古典・伝統を楽しみました。

〈大会結果〉

1位 1年3組 2位 2年1組 3位 1年2組



「さいとこゆ「食」の大運動会」

2月12日に西都市内でおこなわれた、第7回「さいとこゆ『食』の大運動会」で、本校生徒会1年生役員を中心に出品した「西都牛のかぼちゃコロッケピーマン包み」が、準グランプリを獲得しました。約200食を1時間半で完売、3年連続の入賞となりました。ご協力いただいたみなさま、どうもありがとうございました。



今号で、今年度の「妻高だより」は最終号になります。この1年間、本校の教育活動に対しましてご理解・ご協力いただき、ありがとうございました。西都商業高校との統合が1年後に迫っていますが、来年度もこれまでと同様に、在籍する生徒一人ひとりに寄り添い、保護者・地域の期待・信頼に応えられる学校運営に尽力してまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。